

新春
特別対談

人生100年時代を見据えた 歯科医療の未来を語る

歯科医療と口腔健康管理が、超高齢社会で求められる「健康寿命の延伸」に貢献できるとの考えの下に制作された「2040年を見据えた歯科ビジョン」。人生100年時代と言われる昨今、健康寿命の延伸が大きな課題になっている。新春特別企画として菅義偉・内閣総理大臣と堀憲郎会長の対談を掲載した前号(1月1日付)に続いて、「人生100年時代を見据えた歯科医療の未来を語る」をテーマに、田村憲久・厚生労働大臣と堀会長が対談し、歯科界が抱えている課題や新型コロナウイルス感染症への対応も含めて今後の歯科医療を語っていただいた。

(文中敬称略)



堀 憲郎・日本歯科医師会会長

田村 憲久・厚生労働大臣

歯科医療政策と 歯科ビジョン

堀 厚生大臣が就任おめでとうございます。2度目のご就任となりますが、田村大臣とは、社会保障強化等を通じて歯科医療に関わる現状や課題等についてもご理解いただいていることに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、課題が山積しておりますが、この困難を何とか乗り切れることを願っています。

田村 ありがとうございます。大臣に就任した際、菅総理から指示があった事項は、新型コロナウイルス感染症に係る医療機関の支援体制やワクチンの確保、PCR検査体制の拡充、児童虐待の根絶に向けた対策、オンライン診療の恒久化、オンライン資格確認の推進など多岐にわたっており、厚労省を挙げて取り組んでいます。

また、骨太の方針に記載されている歯科関係の事柄についても同時に取り組みを進めています。

堀 骨太の方針については、2017年以降、歯科医療に関する記載が年々充実し、政府・与党にご理解いただいた結果と考えております。

歯科保健を取り巻く環境は、この30年間で大きく変わり、12歳児のう蝕数は大幅に減少し、8020達成者は50%を超えるまでになりました。同時に誤嚥性肺炎、糖尿病、認知症、早産、循環器病と歯科との関係性も明らかになってきています。

人生100年時代と言われるようになってきた現在、健康寿命の延伸は大きな課題で、歯科が重要な役割を果たすことができると考えています。

田村 歯科医療の重要性については、社会保障強化等で堀会長から全身の健康と口腔の健康との関係性について講演をお聴きし、また座談会でも意見交換して、十分に理解しています。

国民の歯科口腔保健の向上は、歯科医師やスタッフの皆様の地道な活動によるものと感謝しています。

ありがとうございます。日歯では、昨年10月に「2040年を見据えた歯科ビジョン」を刊行しました。これは、歯科医療と口腔健康管理が「健康寿命の延伸」に貢献できるの確信の下、新たに20年後を見据えて歯科医療のあるべき姿を描いたものです。

田村 2040年には、高齢者人口(65歳以上)がピークを迎える一方、現役世代の急激な減少が見込まれ、社会の活力の維持、向上を実現していくためには、健康寿命の延伸を図ることが重要です。今回の歯科ビジョンには、そうしたことを踏まえた方向性や実現のための戦略がまとめられており、時宜にかなったもので、素晴らしい内容です。

高齢化の進展に伴う 歯科医療の展開

堀 ビジョンの実現に向けては、ライフステージに応じた切れ目のない歯科健診の整備・拡充、歯周病予防対策の強化、オーラルフレイル対策の推進、かかりつけ歯科医機能の強化、在宅歯科医療の取り組みの促進、医科歯科連携をはじめとする地域医療連携の強化・推進などの取り組みを進めていくことが重要と認識しています。

特に保健施策においては、歯・口腔の実態把握が不可欠で、歯科健診がライフステージ全体の中で途切れている現状は多くの課題があると考えています。

田村 おっしゃる通りです。厚労省としても歯科保健・医療は重要な施策と考えています。中でも歯科健診の充実、大きな課題と認識しています。

歯科健診については現在、効果的・効率的な実施方法等の検討や受診率の向上・セルフケア定着のための効果的な手法等を検証しています。

オーラルフレイルの対応は市町村における住民主体の通いの場などの介護予防の取

《3面》続

ユービゾンシリーズ
UVZON
UV&OZONE SLIPPERS BOX

殺菌灯+オゾン+気流で
スリッパを清潔に
モデルチェンジ致しました!!

患者さんが
直接触れるスリッパへの
ちよっとした思いやりが、
安心感と信頼感を増し
医院全体の清潔イメージを
高めることにはなるのでは
ないでしょうか。

株式会社デントピア
〒453-0056 名古屋市中村区砂田町3-25
TEL/FAX 052-413-1840
http://www.dentpia.co.jp
info@dentpia.co.jp

UZ-N15000 (16足収納)
W528 × H1079 × D378
¥249,000(税別)

UZ-N9500 (8足収納)
W322 × H1079 × D350
¥179,000(税別)

季刊・歯科医療 2021年冬号 (Vol.35 No.1)

特集 **口腔とウイルス**
疾患との関連から検査・感染予防対策まで (日大教授・今井健一編)

1. 口腔におけるウイルス研究の重要性(今井健一) / 2. EBウイルスと細菌の共感染による歯周病の発症と進展機序(渡辺典久ほか) / 3. 根尖性歯周炎の発症と進行におけるウイルスの関与(武市収) / 4. 口腔細菌がインフルエンザとHIV感染症の進展に及ぼす影響(神尾直貴) / 5. SARS-CoV-2と口腔との関連(高橋和) / 6. COVID-19における唾液検査の有用性と今後の展望(曹維崇) / 7. 唾液を用いたウイルス研究(池野良) / 8. 新たな感染症を踏まえた歯科医療(石垣佳希ほか)

●連載:矯正治療の基本から学び臨床に取り入れよう! (原田幹夫) / インプラントを用い、機能・審美を考慮した歯科治療(若川秀紀) / Voice-開業歯科医から 1. 新型コロナウイルス感染症と歯科医院経営(松澤重彦) / 訪問診療の現場で役立つ工夫・ポイントアドバイス(奥原利雄) / インプラント・歯周疾患 インプラント周囲疾患を克服する(令和版)(市丸英二ほか) / 健康歯学概論(清水英寿) / お口の取扱説明書-安静室(古田沙) / エッセイ(吉本船) / 近畿武のお金をかけずにできる経営術/心のコミュニケーション/その他情報満載

《電子版同時発売!》
◎定価(本体3,800円+税)

ヨシタケ君の経営・集患シリーズ②
コロナショック後も「お金をかけずに」生き残る
ブランド歯科医院 構築術

【著】近 義武 歯科医師、歯科医院経営・集患コンサルタント

ブランド歯科医院とは、高級であったり老舗である必要はありません。あなただけの、特別な価値を付加した歯科医院がブランドなのです。

◎B5判 112頁 フルカラー 【電子書籍あり】
◎定価(本体5,000円+税)

株式会社 第一歯科出版 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-5-1-210 TEL. 03-3441-8071
※HPからもご注文できます。YahooまたはGoogleから「第一歯科出版」を検索!

田村憲久 (たむら・のりひさ)
昭和39年12月15日生まれ。
千葉大学法経学部卒。平成
8年から衆議院議員、厚生
労働大臣政務官、文部科学
大臣政務官、総務副大臣な
どを経て、同24年12月か
ら同26年9月まで厚生
労働大臣。令和2年9月
16日から2度目となる
厚生労働大臣に就任。



《この面から続き》

り組みを進める中で、口腔機能向上のための体操等を実施しています。さらに「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の中で、後期高齢者に対する支援として口腔のフレイル対策を含む取り組みも展開しています。

堀 歯科健診の充実については、過去3年間、行政において実効的な取り組みができていないことの検証を踏まえた強力な推進をお願いします。

一方、2040年の社会を俯瞰すると、高齢化の進展に伴い高齢者の孤立と通院困難者が増えるため、特に診療所が大半を占める歯科においては、医療・介護の提供体制をいかに維持・強化するかが大きな課題です。中でも、高齢者は基礎疾患を有していることが多いことから、医科歯科連携をさらに進める必要があります。

例えば病院歯科が、地域内の歯科診療所と各医療機関を結ぶ連携の窓口として機能

することも、望ましい形の一つと考えています。しかし、歯科(歯科口腔外科を含む)を設置している病院は約2割に過ぎず、病院歯科の設置は急務です。

田村 そうですね。高齢者の増加に伴い、地域で孤立することは十分に予想されます。

厚労省としては、そうしたことにならないよう地域包括ケアシステム構築の観点から、病院への歯科医師の配置や通院困難な高齢者等への訪問歯科診療をこれまで以上に推進していくべきと考えています。

また、病院歯科のない地域の医科歯科連携については、効果的な取り組み事例を収集・検証し、好事例の周知を図る「歯科医療提供体制推進等事業」を実施し、今後の施策に反映できればと思っています。

堀 今後の医療を考えるとICT化も重要な課題であり、総理から指示があったというオンライン資格確認については、日歯としても、その重要性和発展性に鑑み、内部にタスクチームを設置し、オンライン資格確認の導入に向けた周知活動を精力的に行っています。

田村 ありがとうございます。菅内閣で



は、デジタル化を加速する方針を掲げており、医療分野では、オンライン資格確認の導入が当面の課題のため、今後とも協力よろしくをお願いします。

**コロナ禍での新たな
日常と口腔健康管理**

堀 昨年から新型コロナウイルス感染症への対応も大きな課題です。感染拡大の傾向にありますが歯科医療においては、歯科治療を通じた感染拡大の報告はなく、日頃からスタンダード・プリコーションをはじめとした感染対策を徹底してきた結果と考えております。

田村 歯科医療現場でクラスターが起きていないことは、現場のご尽力のお陰であり、引き続き、安心で安全な歯科医療の提供ができるよう環境整備を支援します。

また、感染者の中には歯科的な緊急処置が必要な場合もあります。昨年10月下旬の時点で、応急処置が必要な患者の受け入れ医療機関を設定している都道府県は19のため、都道府県に、受け入れ体制の検討を働き掛けています。

堀 PCR検査については、歯科も特例措置の中で協力させていただいています。

田村 歯科医師の皆様には、PCR検査の検体採取にご協力をいただき、感謝しています。唾液を検体とするPCR検査は、発症から9日以内の症例や無症状者に対する検査で実施可能とされ、患者の負担や医療従事者の感染リスクが軽減できるという利点があります。今後、地域の状況に応じてご協力をお願いしたいと思います。

堀 できる限り協力させていただきます。新型コロナウイルス感染症の対応は、正解がなく、非常に難しいものです。

日歯としては細菌性やウイルス性疾患の予防には、日常生活における口腔健康管理が極めて有効であることのエビデンスをさらに整理し、その徹底をかりつけ歯科医機能の一つとして位置付ける機会と考えていますので、ご理解の程をお願いします。



田村 厚労省でも昨年6月、都道府県等に、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着に向けた指導を含む口腔健康管理等を周知しています。

さらに令和3年度予算編成大綱では、「コロナ禍の国民の命と健康を守る」の中に「歯科保健医療を推進する」との文言も記載しているため、国民の健康の保持・増進のため、かかりつけ歯科医による口腔健康管理等などの取り組みに期待しています。

堀 歯科保健施策のご理解に深く感謝します。最後にこれまでのお話を踏まえて、歯科界に期待することについてお聞かせください。

田村 人生100年代では、健康寿命の延伸が重視される中で、高齢になっても健康であるための基本は「自分の口で食べること」であり、歯と口の健康づくりが大切と考えています。それには歯科疾患の予防や重症化予防の取り組みが重要で、国民向けの情報発信も含めて、日歯と連携しながら共に国民の健康寿命の延伸を図っていきます。

堀 口腔健康管理の推進で健康な高齢者が増加し、活力ある社会になるとの確信の下、歯科関係者一同、邁進していきますので、今後ともご協力をお願いします。本日はありがとうございます。

NEW

想像より小さい
BEYOND YOUR IMAGINATION

手のひらサイズの電動注射器

DENTAPEN™
デンタペン

管理医療機器 | 特定保守管理医療機器
承認番号 302ADBZX00052000 / 一般的名称 歯科麻酔用電動注射器
標準価格 293,000円

日本歯科薬品株式会社

本社 山口県下関市西入江町2-5 〒750-0015
営業所 大阪・東京・福岡
お問合せ・資料請求(お客様窓口) ☎0120-8020-96

ARで見てみよう

スマホをかざすと、デンタペンが3Dで現れます。全方向からデザインが確認できます。

SWISS TECHNOLOGY

NISHIKAホームページ
<https://www.nishika.co.jp/>